



2025年12月号(第355号)



「第12回三河湾大感謝祭」を開催しました
(P5)



「Let's エコアクション in AICHI」、「食品ロス削減イベント＆ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時開催しました(P6)



「アクション油ヶ淵 2025」を開催しました
(P7)



愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/site/kankyo/>)



あいちエコアクション・ポイント冬季取組強化 キャンペーンを実施します



愛知県では、県民の皆さんとの脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換を促すため、グリーン購入やプラスチック製カトラリー類の辞退などの環境配慮行動（エコアクション）に対し、ポイントを発行する「あいちエコアクション・ポイント」を実施しています。

このポイントは、県民の皆さん方が、県内約4,700の参加店舗等において、対象のエコアクションを実践することで獲得できます。300ポイント集めていただくごとに、賞品が当たる抽選に1回応募できます。

この取組をより広く普及させるため、12月16日（火）から1月15日（木）までを冬季取組強化キャンペーン期間とし、通常賞品のQUO（クオ）カードに加え、協賛事業者から提供いただいた期間限定の賞品を用意します。

是非エコアクションを実践し、ポイントを集めご応募ください。

1 ポイント付与の対象となるエコアクション・獲得ポイント数と主な参加店舗

エコアクション [獲得ポイント数]	主な参加店舗
①グリーン購入（家電、衣類、食品、家庭用品、文房具） [省エネ家電50P、その他10P]	エディオン、アオキスーパー、スギ薬局、V・ドラッグ等
②プラスチック製カトラリー類の辞退 [10P]	ファミリーマート、セブンイレブン、吉野家グループ等
③使用済みクリーニングハンガーの返却 [10P]	ホワイト急便、タカケンサンシャイングループ等
④飲食店での食べ残しぼり [10P]	あみやき亭グループ、吉野家グループ、コメダグループ、デニーズ等
⑤フードバンク等への寄付 [10P]	ファミリーマート、セカンドハーベスト名古屋等

2 参加・応募方法

- ①Webサイトにアクセスし、アカウントを作成
- ②参加店舗等で、対象となるエコアクションを実践し、店舗等に設置する二次元コードをスマートフォンで読み取り、ポイントを獲得

③300ポイント集めたら、Webサイトのマイページから希望賞品を選択して応募

3 参加費

無料（ただし、通信費は自己負担）

4 キャンペーン期間限定の賞品

区分	賞品名 () 内は協賛品提供者	当選者数
商品券 ・チケット	・B1リーグホームゲーム IGアリーナ指定席ペアチケット (名古屋ダイヤモンドドルフィンズ(株)) ・花とみどりのギフト券 【3,000円分 (1,000円×3枚)】 ((社)JFTD 花キューピット) ・ルブラ王山 ギフトクーポン券 【2,000円分 (1,000円×2枚)】 (ホテルルブラ王山) ・サンヒルズ三河湾 宿泊利用割引券 【2,000円分 (2,000円×1枚)】 (サンヒルズ三河湾)	2名 5名 10名 1名
商品	・名古屋グランパスの選手の直筆サイン入り色紙 ((株)名古屋グランパスエイト) ・いちご大福、さくらさくらの赤飯まんじゅう【各5個の10個1箱】 ((有)野田屋菓子舗) ・「ブレンディ®」マイボトルスティックすっきりレモン&ビタミンC 【6本入 6箱】(味の素AGF(株))	5名 10名 8名

5 当選発表

厳正なる抽選の上、賞品の発送をもって代えさせていただきます。発送は2月上旬を予定しています。

○詳細はWebページをご覧ください。
<https://www.eap.pref.aichi.jp>



あいちエコアクション・ポイント

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催します



愛知県では、カーボンニュートラルの実現に向けた県民及び事業者の意識の向上や行動の変革を促すため、具体的な方策について考える場となる「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催します。

地球温暖化対策を加速するためには、県民、事業者などあらゆる主体の皆さんと連携・協力して取り組む必要があります。本フォーラムはそれぞれの立場で考える良いきっかけとなりますので、是非ご参加ください。

1 日時

12月23日（火） 13:30～16:30

2 開催場所

会場：愛知芸術文化センター 12階

アートスペースA（名古屋市東区）

オンライン参加も可能です（Zoom利用予定）。

3 内容

（1）主催者挨拶（知事予定）

（2）認定証授与式

自動車エコ事業所認定証授与

あいちカーボンニュートラルチャレンジ認定
証授与

（3）講演等

○ 基調講演

「持続可能な社会と住宅・建築物の役割」

【講師】芝浦工業大学建築学部

学部長・教授 秋元 孝之 氏

【基調講演講師プロフィール】

早稲田大学大学院理工学研究科
建設工学専攻修了。カリフォルニア大学バークレー校環境計画研究所に留学。清水建設株式会社、関東学院大学工学部建築学科を経て、現在に至る。空気調和・衛生工学会 会長。博士（工学）、一級建築士。国土交通省社会資本整備審議会建築分科会建築環境部会省エネルギー判断基準等小委員会委員、経済産業省ZEH・ZEH-M委員会委員長。



○ 事例発表①

「省エネ建築物の副次的効果を定量化した総合的な価値評価指標 NEBs (Non-Energy Benefits) の紹介」

【講師】（株）NTT ファシリティーズ

取締役・ファシリティソリューション本部長 榎木 靖倫 氏

○ 事例発表②

「アイシンにおけるペロブスカイト太陽電池の取り組み」

【講師】（株）アイシン

先進開発部主査 粂田 信明 氏

○ トークセッション

「建築物から取り組むカーボンニュートラル」

登壇者：基調講演講師、事例発表講師

インビテーター：気象予報士・フリーアナウンサー

草川 敦子 氏

4 定員

【会場】150名【オンライン】500名

ともに申込先着順

5 参加費

無料（オンライン参加の通信費は参加者負担）

6 申込方法

下記Webページにある申込フォームからお申込みいただか、参加申込書をダウンロードの上、メール又はFAXにより、12月15日（月）までにお申込みください。

Webページ：<https://www.pref.aichi.jp/>

press-release/forum2025.html

メール：ondanka@pref.aichi.lg.jp



FAX：052-955-2029

7 その他

本フォーラムの開催に伴い排出されるCO₂は、県と（株）名古屋銀行が2023年9月28日に締結した覚書に基づいてオフセット（埋め合わせ）されます。

〔 地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン） 〕

事業者向け「化学物質適正管理セミナー」を オンラインで配信しています



事業者による化学物質の適正な管理を一層促進するため、愛知県は名古屋市とともに、化学物質を取り扱う事業者を対象とした「化学物質適正管理セミナー」をオンライン（録画配信）で開催しています。是非ご視聴ください。

1 公開期限

2026年2月10日（火）17:00まで

2 内容

（1）化管法の概要と排出量等の算出方法について

独立行政法人製品評価技術基盤機構

化学物質管理センターリスク管理課

主任 池上 由宇真 氏

（2）化学物質関係条例（愛知県及び名古屋市）の概要と県内の化学物質の現状について

県環境局環境政策部環境活動推進課

（3）自律的な化学物質管理について

厚生労働省愛知労働局労働基準部健康課

労働基準監督官 向 貴久 氏

（4）愛知県内における水質事故の概要及び未然防止について

県環境局環境政策部水大気環境課

3 参加費 無料（通信費は自己負担）

4 申込期限 2026年2月10日（火）正午まで

5 申込方法 あいち電子申請届出システム

<https://ttzk.graffer.jp/pref-aichi>

<電子申請ホームページ>

申込完了時にメールで

視聴方法をご案内します。



トップページ→キーワード検索
→化学物質適正管理セミナー

環境活動推進課 環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6212（ダイヤルイン）

地球温暖化防止活動推進員を募集します



愛知県では、ボランティアとして地域で地球温暖化に関する知識の普及と地球温暖化防止活動を進め、「地球温暖化防止活動推進員」を募集しています。

1 地球温暖化防止活動推進員の活動内容

地方公共団体等の依頼に応じ、又は自主的に、地球温暖化防止に関する活動を行います。

【活動例】

- ・出前講座「ストップ温暖化教室」の講師
- ・市町村環境イベント等でのブーススタッフ
- ・緑のカーテンの育て方講習の講師
- ・地球温暖化に関する研修や説明会への参加

2 委嘱期間

2026年2月1日から3年間

3 応募資格（以下の事項を全て満たすこと）

- ・満18歳以上（2026年2月1日時点）で、県内に在住もしくは在勤、在学していること。

- ・地球温暖化防止に熱意と見識を有し、地球温暖化問題に関して指導及び助言ができること。
- ・暴力団員及びその関係者でないこと。

4 応募方法

Webページから「愛知県地球温暖化防止活動推進員応募申込書」及び「個人情報提供同意書」をダウンロードし、県環境局地球温暖化対策課宛てメール又は郵送で提出してください。

5 応募受付期間

2026年1月7日（水）まで【必着】

詳細は、Webページをご覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/suishinin-bosyu2026.html>



愛知県地球温暖化防止活動推進員

検索

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

「第12回三河湾大感謝祭」を開催しました



愛知県では、「三河湾環境再生プロジェクト」の一環として、多くの皆さんに三河湾への関心を持っていただくため、2014年度から「三河湾大感謝祭」を開催しています。

第12回となる今年度は、10月5日（日）に西尾市の吉良ワイキキビーチで開催しました。

当日は、三河湾の穏やかな景色を満喫できる「三河湾クルーズ」や水中ドローンを使って海中を観察する「水中ドローン操作体験会」、海の生きものを間近で見て触れられる「生きものタッチプール」、こころが潤う「吉良温泉の足湯」などで、多くの皆さんに三河湾を体験していただきました。



三河湾クルーズ

ステージイベントでは、さかなのおにいさん かわちゃんによる「世界一楽しいおさかなクイズショー」やさかな芸人ハットリによる「お笑いライブ」を開催し、来場者が三河湾への関心を高める良い機会となりました。また、知事と西尾市副市長がキッズダンスクラブやさかなのおにいさん かわちゃん、スレイタポハクとともに、三河湾の環境再生に向けた気運を高める「ガンバローコール」を行いました。



ガンバローコール

吉良名産「イカの煮た」の無料試食と、三河湾産アオサすくいのブースにも多くの人が訪れ、三河湾の恵みについて考える機会となりました。



「イカの煮た」の試食

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員をはじめとした各団体のブースでは、三河湾の生きものや海ごみなどを題材にしたクイズラリーや、三河湾産の海産物をはじめとした地元食品の販売を実施しました。



団体のブースの様子

当日は、大変多くの皆さんにご来場いただき、楽しみながら三河湾の魅力に触れ、考えていただく一日となりました。

三河湾環境再生プロジェクトについては、以下のWebページをご覧ください。

(<https://kankyojoho.pref.aichi.jp/mikawawanpj/>)



三河湾環境再生プロジェクト

検索

水大気環境課生活環境地盤対策室

三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

「Let's エコアクション in AICHI」、「食品ロス削減イベント＆ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を同時開催しました



愛知県では、お出かけに電車やバスを使う、普段の生活で省エネを心がけるなどの環境にやさしい行動「エコアクション」の輪を広げるとともに、食品ロスやプラスチックごみ問題について皆さんに知りたいための環境イベント「Let's エコアクション in AICHI」と「食品ロス削減イベント＆ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を10月19日（日）に乙川河川緑地（岡崎市）で同時開催しました。

当日、ステージでは、「あいちエコアクション広報部」のOS☆Uによるエコアクションライブのほか、ギャル曽根さんによる食品ロス削減トークショー、森野熊八さんによる食品ロス削減講演会、BOYS AND MENによるごみゼロ社会推進トークショーが開催され、家庭でできる食品ロス削減やごみ減量の取組などをお話しいただきました。また、グレート家康公「葵」武将隊の演武、そして出演者と観客の皆さん、「レッツ・エコアクション！」の掛け声に合わせて拳をかける「あいちエコアクション宣言」が行なわれ、大いに盛り上がりました。



OS☆U ライブパフォーマンス



ギャル曽根さん トークショー



森野熊八さん 講演会



BOYS AND MEN トークショー



グレート家康公「葵」武将隊演武



表彰式

さらに、レジ袋削減取組店に登録している県内の222店舗のうち、顕著な実績を収めた11店舗の4事

業者に対し、表彰状が授与されました。

一方、会場内では、環境保全に取り組む企業・団体等の様々なブースが出展され、松ぼっくり釣りなど自然で遊ぶ体験やリサイクル素材でつくるキーholderの工作などを楽しむ親子の姿が見られました。



松ぼっくり釣り



リサイクル素材で工作

そして、各ブースを回ってスマートフォンで二次元コードを読み取り、ポイントを集めて抽選に参加するデジタルラリーにも多くの方に参加いただきました。

また、イベント参加者が、これから取り組むエコアクションを付箋に書いてボードに貼り付ける「My エコアクション宣言」では、たくさんの魚の付箋が貼られた乙川のイラストが完成しました。



My エコアクション宣言ボード



賑わいを見せる会場の様子

このほか、家庭などで余った食品を持ち寄るフードドライブには74点約4.2kgの食品が集まり、OKフードドライブ（岡崎市役所）に寄附することができました。ご協力ありがとうございました。

当日は天候にも恵まれ、多くの方にご来場いただき、楽しみながらエコアクションやSDGsについて知っていただくことができました。

環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)
資源循環推進課 一般廃棄物グループ
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

「アクション油ヶ淵 2025」を開催しました



「油ヶ淵」は、愛知県内唯一の天然湖沼です。油ヶ淵への関心を深め、水質浄化に向けた気運を盛り上げるため、油ヶ淵水質浄化促進協議会*の主催で、毎年度、体験型イベント「アクション油ヶ淵」を開催しています。

*油ヶ淵の水質浄化を目的として 1993 年設置。県と油ヶ淵周辺 4 市（碧南市、安城市、西尾市及び高浜市）で構成

今年度は、10月 25 日（土）に油ヶ淵水辺公園自然ふれあい生態園（安城市）で各種ブース出展、水生花園（碧南市）で体験型講座を開催しました。

講座では、油ヶ淵の水質調査体験と、油ヶ淵にすむ生きものを捕まえて触って体感する学習会を行い、生態系や水環境について学びました。



生きものの学習会

また、各種ブースでは、油ヶ淵の植物や野鳥の観察会、工作体験、外来生物の紹介などを行いました。当日は約 720 名の方にご来場いただき、楽しみながら油ヶ淵の生きものや環境への関心を深めていただきました。



油ヶ淵の植物や野鳥の観察会

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」の結果発表

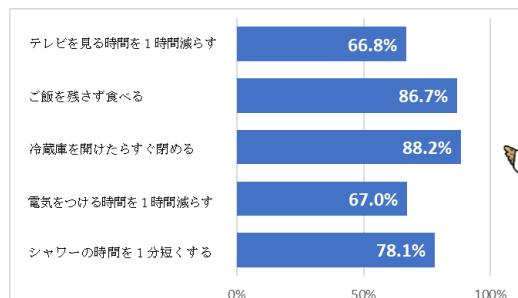


愛知県では、地球温暖化防止に向けた「賢い選択（COOL CHOICE）」を促す「あいち COOL CHOICE」県民運動の一環として、夏休み期間中に、小学生とその家族が家庭で地球温暖化防止に向けたエコアップ行動に 7 日間取り組む「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施しました。

- 参加数：3,178 家族
- 参加小学校数：51 校
- 各取組の達成率

スギ 483 本相当* の CO₂ が削減できたよ！

*3,178 家族が 7 日間で減らした合計量の推計（6,765kg-CO₂で試算）、スギが 1 年間で吸収する CO₂ 吸收量を 14kg-CO₂ として換算



参加した小学生からは、「自分でできることを探して、CO₂ を減らそうと思った」「少しづつの積み重ねが大切だと分かった」など、未来につながる前向きな感想を多くいただきました。また、一緒に取り組んだご家族からも、「子供と一緒に改めてエコについて勉強することができた」といった声をいただきました。

○ 優秀校

児童の参加率の高かった小学校を、学校の規模（児童総数）別に優秀校として表彰します。

<今年度表彰校>

- ・岩津小学校（岡崎市）
- ・庭野小学校（新城市）

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/ecoup25-result.html>)



（ 地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン） ）

国道23号通行ルール(名古屋南部地域)にご協力を お願いします

3 すべての人に
環境を尊重する



【国道23号通行ルール(名古屋南部地域)】

名古屋南部地域の大気環境は、近年徐々に改善が進んでいますが、この地域を貫く国道23号では、交通量が8万台／日を超える箇所や大型車混入率が5割近い箇所もあり、他の道路沿道に比べ大気汚染物質の濃度が高くなっています。

そこで、国土交通省では、名古屋南部大気汚染公害訴訟の和解条項の一つである車線削減の代替策として、従来からの法規制に加え、大型車は中央寄り車線を走行することで沿道の騒音や大気汚染を低減させる「国道23号通行ルール(名古屋南部地域)」を策定し、関係機関(環境省、愛知県、名古屋市、愛知県警及び(一社)愛知県トラック協会)とともに周知や呼びかけを行っています。

<対象車種> 大型車 [図1の例参照]

<実施区間> 緑区大高町(名古屋南インター交差点)～海部郡飛島村(梅之郷交差点)までの国道23号・約16kmの区間 [図2の地図参照]

<お願い> 実施区間では、大型車は外側車線(環境レーン)を避け、中央寄り車線の走行、小型車は大型車が中央寄り車線を走行しやすいよう、外側車線(環境レーン)の走行にご協力お願いします。

【法の規制を守りましょう】

- ・道路交通法により、左記の実施区間のうち緑区折戸～港区十一屋間では大型車は夜間(23時～翌朝6時)、最も中央寄りの車線を通行しなくてはいけません。

6車線(片側3車線)



4車線(片側2車線)



規制標識及び規制表示(路面に表示)

- ・道路運送車両の保安基準等に定める、黒煙を多量に発散する整備不良車、不正燃料使用車、過積載車両、許可のない特殊車両は公道を通行できません。

【沿道環境に配慮した走行のお願い】

- ・「ふんわりアクセルでゆっくり発進」などのエコドライブの実施
(排出ガスを抑え、燃料も節約できます。)
- ・自動車NOx・PM法車種規制非適合車を使用しない
(「貨物自動車等の車種規制非適合車の使用抑制等に関する要綱」に基づき、使用しないようお願いします。)

水大気環境課 大気規制グループ

電話 052-954-6215 (ダイヤルイン)

建設局 道路建設課 企画・環境対策グループ

電話 052-954-6541 (ダイヤルイン)

対象車種
中央寄り走行をお願いする大型車の例

① 1,4,6ナンバーの
トラック、バン



② 2ナンバーの
バス、マイクロバス



③ 8ナンバーの
特種自動車



図1 「国道23号通行ルール(名古屋南部地域)」の対象車種

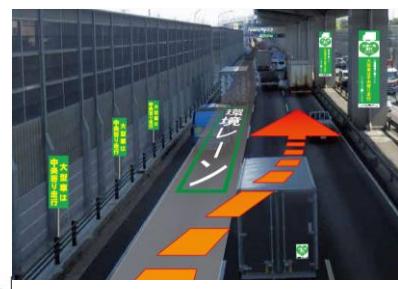


図2 「国道23号通行ルール(名古屋南部地域)」の実施区間

生物多様性に関する優れた取組をしている企業を認証しました



愛知県では、企業による生物多様性保全の取組を促進するとともに、優良な取組の普及を図ることを目的に、生物多様性に関する優れた取組を実践している企業を認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を2022年度から実施しています。

今年度は4月から7月にかけて申請企業を募集しました。あいち生物多様性企業認証制度審査会での審査によって、今年度は下記のとおり10社を選定し、11月12日、県本庁舎において認証式を行い、知事から県産木材を利用した認証書を授与しました。



認証書授与



記念撮影

また、審査委員長である名古屋大学 武田 権 名誉教授から講評が述べられました。

なお、これまでに本制度により認証した企業の総数は75社となります。

生物多様性保全は、気候変動と並ぶ喫緊の課題であり、自然の損失を食い止めてプラスに転じる「ネイチャーポジティブの実現」が世界の目標として注目されています。



審査委員長による講評

この目標を達成するためには、あらゆる主体の連携が必要であり、とりわけ、企業が果たす役割が大変重要となります。県では引き続き、本認証制度を通じて、企業による生物多様性保全の取組を促進していきます。



認証企業マーク

認証の区分と認証企業一覧（五十音順） 10社

優良認証		(2社)
JFEスチール(株)	知多製造所	半田市
住友理工(株)		小牧市
認証		(8社)
愛知時計電機(株)		名古屋市熱田区
イオンモール(株)		常滑市
イオンモール常滑		
出光興産(株)	愛知事業所	知多市
(株)サンゲツ		名古屋市西区
(株)商船三井	名古屋支店	名古屋市中村区
(株)進和		名古屋市守山区
フタバ産業(株)		岡崎市
三菱電機ビルソリューションズ(株)		稻沢市
稻沢ビルシステム製作所		

<制度概要(URL)>

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/biodiversity-certification.html>



あいち生物多様性企業認証

検索

自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)



○ 大気中の温室効果ガス濃度が観測史上最高を記録

気象庁は10月16日、世界気象機関(WMO)温室効果ガス世界資料センターが2024年までの大気中における世界の温室効果ガス濃度を解析した結果を公表しました。これによると、主要な温室効果ガス(二酸化炭素CO₂、メタンCH₄、一酸化二窒素N₂O)の濃度は引き続き増加しており、2024年度の二酸化炭素の世界平均濃度が423.9±0.2ppmとなるなど、いずれも観測史上最高を記録しています。特に二酸化炭素濃度は、前年からの増加量が観測史上最大の3.5ppmとなりました。その主な要因は、2023年春から2024年春に発生したエルニーニョ現象による高温と乾燥により生態系の炭素吸収量が減少したことと、干ばつによる大規模火災により大気中への二酸化炭素の排出量が増加したことによるためとしています。

のことから、今後、気候変動はさらに加速していくことが懸念されます。気候変動に一人一人が適応していくことは、避けて通れない重要な課題です。

○ 家庭や個人でできる適応アクション

本号では、国立環境研究所気候変動適応センターが実施する「#適応しよう」キャンペーンから、現在及び将来の気候変動の影響に備え、快適に暮らしていくための「適応アクション」のうち、いくつかの取組を紹介します。ぜひ取り組んでみてください。

◆ アクション02「サステナブルファッショントリートメントを始めよう」

国内に供給される衣類の原材料調達から製造段

階までに排出される二酸化炭素は、服1着あたりに換算すると約25.5kgになります。服を購入する際は、保温性や通気性などを意識し、気温の変化に対応しやすく、着回ししやすい服を選ぶことを心がけ、持続可能なファッショントリートメントを取り入れましょう。

アクションの具体例

- 気候に合わせやすく、着回ししやすい服を選ぶ
- 長く着る
- 古着、リユースを楽しむなど

02 サステナブル
ファッショントリートメントを
取り入れよう



◆ アクション07「エネルギーを効率よく使おう」

近年、気候変動によって極端な気象が増えています。窓に断熱材を貼るなどして家の断熱性を高めることで、室内の温度を安定させ、高齢者や子どもが低体温症や熱中症になるリスクを軽減することができます。また、結果的に、エネルギー消費が減ることで、温室効果ガスの排出も抑えられます。

アクションの具体例

- 熱の出入りが大きい窓に断熱材を貼る
- 遮光・遮熱カーテンを取り入れるなど

07 エネルギーを
効率よく使おう



紹介した例を参考に、ご自身のライフスタイルに合わせて気候変動に適応しましょう。

愛知県気候変動適応センター

(環境調査センター 企画情報部)

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」(第355号)

発行日 2025年12月2日

編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部

所在地 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6

電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

(今月号とバックナンバーを掲載しています。)



掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。